

パブリックコメント手続きの実施結果について

- ・ 案件名 伊東市総合戦略（案）
- ・ 実施期間 平成27年7月30日（木）から平成27年8月29日（土）まで
- ・ 担当課 企画部行政経営課
- ・ 意見提出数 2人・2件

「伊東市総合戦略（案）」に対していただいたご意見と市の考え方

| No. | 頁 | 意見内容 | 市の考え方 |
|-----|---|---|--|
| 1 | 7 | <p>基本目標2 新しいひとの流れをつくる</p> <p><u>「首都圏からの移住を促進する情報発信のみならず、進学のために伊東市を離れた若者が伊東市に戻ってきて就職できるような施策」を追加していただきたい。</u></p> <p>（例）県の「地（知）の拠点大学（COC+大学）」群を活用して「若年層の就労が可能な環境づくり」を目指した具体的な効果的な対策を検討、実施する。</p> | <p>7ページの「具体的な施策」の「① 地方移住の推進」に「<u>静岡県内の「地（知）の拠点大学（COC+大学）」群を活用することなどにより、「若年層の就労が可能な環境づくり」を目指した、具体的で効果的な対策を検討し実施します。」</u>という記述を追加します。</p> |
| 2 | — | <p>策定された伊東市総合戦略（案）は、自治法に基づく「総合計画」内「基本計画」部門の総合戦略というより、「実施計画」や「事業部門のローリング計画」になっています。</p> <p>策定に際し、各界や分野、地域代表者からなる審議会等検討組織はあるが、その中でどのような資料に基づき検討や審議がなされたのか疑問です。</p> <p>市の「総合戦略」案を検討・立案するに際し、国の提案して</p> | <p>総合戦略は、人口ビジョンで提示した2060年の人口の長期見通しを受け、平成27年度から31年度までの5年間で集中的に実施する施策を取りまとめたものであり、人口減少対策に特化した計画となっていることから、人口フレームに重点を置いた計画となっているとともに、「基本計画」よりは具体的な「実施計画」のような位置づけとなっています。</p> <p>総合計画や基本計画については、市の将来像を実現するため</p> |

| | | |
|--|---|---|
| | <p>いる方向性や内容も大切であるが、伊東市の現状や過去からの変遷、伊東市のポテンシャル、そして将来予測等を把握したうえで戦略立案が必要です。現在、公表されている資料や計画立案過程からはそれらのデータや資料の形跡が見ることができません。</p> <p>特に全ての計画策定や戦略等構築の基本となるものは伊東市の将来「基本フレーム」です。本来は人口フレーム、財政フレーム、産業フレーム、そして土地利用フレームから成り、10年20年後を想定した上での5年後の推計値が設定されることが必須です。</p> <p>人口が減れば歳入も歳出も変わります。産業や身近な観光にも大きく影響します。そして土地利用形態や公共公益施設の配置や維持も変わります。また、毎年減少し続けている伊東市の経済指標も重要です。</p> <p>残念なことに、今回も人口フレームのみで財政フレーム、産業フレーム、土地利用フレームが提示されていません。実態を認識し、必要な検討条件は加えて、正確な基本データと各種の将来予測を加味した上で「伊東市総合戦略案」が策定されることを提案します。</p> | <p>の目標を定め、市の施策を総合的に位置づけたものでありますので、人口減少対策に特化した総合戦略とは性質が異なるものとなっています。</p> <p>総合戦略の策定と第十次基本計画の策定を同時に進めることにより、現状分析と将来予測を一体的に行うことで、両者が密接に関連し、より効果的な施策を展開することができるものと考えています。</p> |
|--|---|---|